

様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業実績書

令和5年3月31日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのか など、事業の趣旨や目的を記 入してください。)</p>	<p>由良川と四ツ尾山で囲まれた綾部地区から中筋地区で暮らす 人々の生命と財産をおびやかす内水被害の減少を図るため、雨 水ポンプ場の運用面確認とともに、河川や都市下水路などの改 修の実現に向けて取り組む。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>綾部市由良川内水処理対策協議会</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>95,372 円 (50,000 円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費 に補助金が充当されるか記入 してください。)</p>	<p>1. 定時総会（5月） 2. 陳情活動 3. 雨水ポンプ場工事、運営管理に係る連絡会議 4. 役員会、建設協議会及び活動記録編集会議 適宜開催 5. その他目的達成に必要な事業</p>
<p>事業実施期日</p>	<p>令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>井倉町中央公会堂、他</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容につ いて記入してください。)</p>	<p>念願であった綾部雨水ポンプ場が令和4年4月に完成しまし た。この地域における内水被害が軽減されることを期待すると ともに、この施設実現を先導してきた協議会の責任としてその 運用に対しても監視を行いました。また、内水による被害の原 因は、由良川河道に堆積した土砂や都市下水路もあり、改善で きるよう引き続き要請に向けた検討を進めていきます。 一方、綾部雨水ポンプ場が完成したことに伴い、これまで取 り組んできた本協議会の活動の歩みを残しておくこととし、活 動記録誌を製作しました。</p>
<p>補助金の効果（成果） (計画書では期待できる効果 を、実績書では得られた成果 を記入してください。)</p>	<p>令和4年度は幸いにして大雨による災害はなく、このポンプ 場が稼働することはありませんでしたが、気候変動の影響から 激甚化する自然災害に対して、地元住民を代表して引き続き運 用面の監視を続けていきます。 製作した活動記録誌は、陳情に伺った議員の皆さんに配布す るとともに、協力いただいている各団体に配布し、ポンプ場及 び活動の重要性についての普及に役立てていきます。</p>

収支計算書

令和5年3月31日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

(単位 円)

		区分	予算額	収入済額	明細
収入の部		市補助金	50,000	50,000	綾部市より
		負担金	45,000	45,000	参加団体より
		雑収入	0	0	
		その他収入	0	372	役員から
		繰越金	0	0	
		合計	95,000	95,372	
		区分	予算額	支出済額	明細
支出の部		会議費	28,000	11,342	総会、建設委員会、他
		事業費	30,000	29,000	記録製作活動費他
		事務費	35,000	55,030	印刷、事務用品
		雑費	2,000	0	
		合計	95,000	95,372	
差引			0	0	